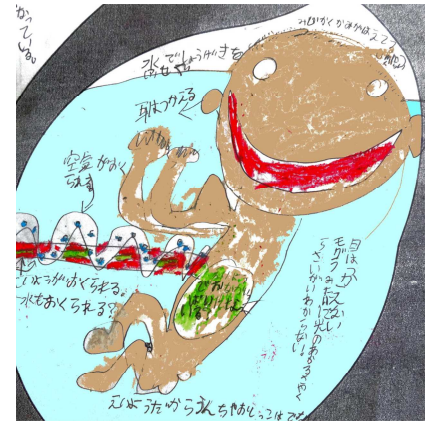




## 1343 5年 「お腹の中の赤ちゃん」1/15・16・17

・前回、班で出しあった「知っていること」「予想」をもとに予想図を描きます。

- 自分は、赤ちゃんがどんな様子なのか分からなかったです。友達は、うんちはどうするか、体の向きはどうなのかが描けていて、すごいと思いました。Aさん
- 今日の勉強で、みんな、お腹の中の赤ちゃんの絵や色が違っていました。Bさん
- みんな、絵がともうまく見やすかったです。どうなっているかの様子を分かりやすくまとめている人もいました。Cさん
- みんなの絵を見ると、自分と違ってびっくりしました。Dさん
- ★ 自力で予想できないときは、班の中で相談です。それも大事な学習です。



画像上のEさんの自由に発想は◎。下はFさん。これを見せたら1組は「ヘソのお」を赤青にする子が増えました。



## ・次に、お腹の中の赤ちゃん(胎児)の育ちについての基本を学習

- 赤ちゃんを産むのは、とても大変そうだし、痛いんだと思いました。Gさん
- 私は最初は赤ちゃんを産みたかったけど、お母さんが「産むときは大きな声を出して産んだよ。」と言っていました。そうとう痛いんだなと思いました。私は赤ちゃんを産みたくない、ずっとと思っています。Hさん
- ★ 産むときの痛さは人それぞれです。また無痛分娩という方法では痛みは感じません。
- この勉強をして、お母さんはがんばって私を産んでくれたんだなと思いました。産んでくれたお母さんに感謝したいです。Iさん
- 最初は0.1mmの赤ちゃんで、びっくりしました。板邊さん
- お腹の中の赤ちゃんの育ちが分かりました。かんちがいしていたこともありました。Jさん
- 人の誕生は、こんなにむずかしいとは思っていませんでした。Kさん
- 赤ちゃんを産むときは、たくさんの方が努力が必要なの分かりました。Lさん
- ぼくは早く産まれてMICUで育ちました。同じ人もいと分かりました。Mさん
- ★ そうです。たくさんいます。
- 誕生の時は、血がいっぱい出ていました。産まれてよかったと思いました。Nさん
- ★ 血がついているのに驚きましたか？血は、たくさんは出ていません。



## 1344 4年 Aさん「たこあげ」1/6

お祖母ちゃん「風ないなあ。」

ぼく「ほんまやなあ。」

母「走らないかんで。」

ぼくは走ってタコあげしました。電線に

引っかかりみんな笑いました。

おいちゃん「運動公園に行こうや。」

ぼく、弟、妹、お母さん、おばあちゃん、

おいちゃん、おいちゃんの子どもと行きました。

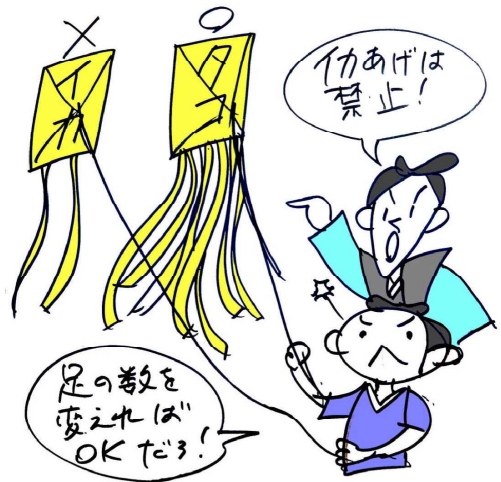
ぼく「走って疲れたけど、タコは高く上がったで。」

どうして「タコあげ」っていうのか知りたいと思ったので調べました。

タコは形がイカにしていることから「イカあげ」と呼ばれていた。イカが落ちて事故が多くおこり、「イカあげ禁止令」が出た。足2本をつけたイカではなく、足8本をつけたタコは禁止ではないと市民が考えて「タコあげ」をした。

★ 足を2本から8本にして、「イカあげ」ではない「タコあげ」だよ。と言ったのが今に続いています。でも2本に戻っても「イカ揚げ」には戻らず。空に揚げるタコは漢字で書くと「凧」。

スマホに「いかのぼり」と音声入力して変換すると「凧」と出ます。こういう歴史を反映した変換です。でもパソコンで入力すると、「凧」にはなりません。なぜ？



## 1345 3年 Bさん「ザリガニの赤ちゃん」12/30

私はザリガニのお母さんを飼育していました。10月18日ごろ、たまごをお腹につけているのを発見しました。11月の中ごろ、赤ちゃんが生まれました。

私「どうしてお腹に赤ちゃんはくっついているの？」

母「人間の赤ちゃんと同じように安心するからかなー。」

私「安全だからかな？」

兄「安全やからかな？」

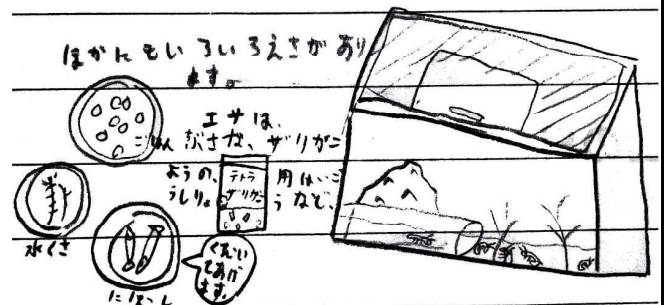
父「外敵から身を守るためじゃないかな？」

インターネットで調べました。

赤ちゃんは、きけんを感じると、お母さんのお腹にもぐりこむそうです。家族全員の意見が合っていました。

一人でうろうろするときが多いので、そろそろお母さんからはなれて、べつに飼育したらいいそうです。ザリガニの赤ちゃんは、だいたい200匹くらいいます！

★ 200匹とはすごいね！全部育てるのはとても大変。どうしますか？





## 1346 4年 Aさん「ヒョウモンチョウの誕生」1/5

去年の春に1回目。ヒョウモンチョウのよう虫を発見する。

ぼく「何この幼虫？」

祖母「ヒョウモンチョウのよう虫だよ。

毎年、スマレの花に卵を産んで、  
よう虫はスマレの葉っぱを全部  
食べてしまうよ。」

秋に2回目のヒョウモンチョウの幼虫  
を発見する。

ぼく「うわあ！よう虫が50匹もいるよ。」

そのうち37匹が10月にさなぎになって  
ブロック塀についていた。2週間で羽化した。  
天気の良い日に2匹ずつ飛んでいった。

寒い12月に3回目の幼虫を発見する。今度は小さいのと大きいのを合わせて5匹発見した。

また春に、同じスマレのところにチョウが来て卵を産むんだらう。

毎年来るけど、去年の秋ほど多くのさなぎとチョウを見たのは初めてだった。

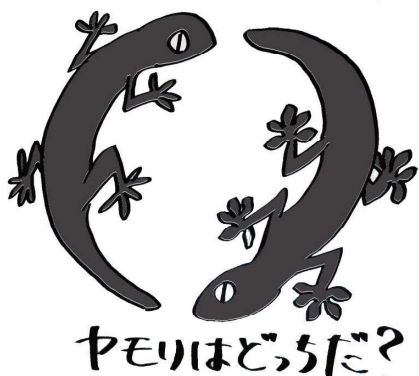
★ 3回の幼虫発見を見届けています。長い時間の流れを感じるレポートです。そこが、いいね。

「37匹のさなぎがブロック塀に」「天気の良い日に2匹ずつ飛んで行った」など、絵本にでき  
そうな記録がすてきです。



## 1347 6年 Bさん「ヤモリが元気がないのは」12/30

### 形のにている イモリとヤモリ



自宅で飼っているヤモリが、冬になると餌を食べなくな  
ります。なんでなのか気になったので調べました。

母「最近ゆるちゃん（ヤモリの名前）エサ食べよん？」

父「食べてないよ。」

自分「何で食べてないんだらう？」

自分「体の外側は冬眠してないけど、内側の臓器だけ休  
んでいるのかな？」

母「人は冬に代謝が良くなるらしいよ。」

自分「ヤモリは変温動物だから人と違うのかな？」

動かなくなっているのは、気温が下がって動きが鈍くなっているからです。動きが鈍くなるの  
は体力を温存させるためと言われています。たまに起きて餌を食べたり水分を補給したりして  
います。

★ 前のレポートもヤモリでしたね？三島小学校の校内にはヤモリがたくさんいます。